

常滑市地域公共交通協議会財務規程（案）

（趣旨）

第1条 この規程は、常滑市地域公共交通協議会設置要綱（以下「要綱」という。）の規定に基づき、常滑市地域公共交通協議会（以下「協議会」という。）の財務に関し、必要な事項を定めるものとする。

（予算）

第2条 協議会の予算は、常滑市からの負担金、国等からの補助金、繰越金及びその他の収入をもって歳入とする。また、協議会の運営及び事業に係る経費をもって歳出とする。

2 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

3 会長は、毎会計年度の予算を調整し、協議会の承認を受けなければならない。

4 会長は、会計年度の途中において既定の予算に補正をする必要が生じたときは、前項と同様に予算を調整し、協議会の承認を受けなければならない。

（予算区分）

第3条 歳入歳出予算の款、項及び目の区分は、別表のとおりとする。

2 会長は、会計年度の途中において特別な理由があるときは、別表に定める以外の項及び目を定めることができる。

（予算の流用等）

第4条 会長は、歳出予算の流用又は予備費を充用したときは、直近の協議会に報告しなければならない。

（出納及び現金等の保管）

第5条 協議会の出納は、事務局長が行う。

2 協議会に属する現金等は、銀行その他の金融機関に預け入れなければならない。

（協議会出納員）

第6条 事務局長は、協議会を所管する課の課長級職員であって事務局員である者に出納員を命じ、会計事務を委任することができる。

2 会計事務に携わる事務局員は、現金の出納、保管その他の必要な事務の手続き等について適正に処理しなければならない。

（予算の執行）

第7条 協議会の予算に係る収入及び支出の手続きは、出納員が行う。

2 出納員は、次に定める簿冊を備え、出納の管理を行うものとする。

（1）予算整理簿

（2）前号に掲げるもののほか、必要な簿冊

（決算等）

第8条 会長は、毎会計年度終了後、速やかに協議会の決算を調整し、協議会の承認を得なければならない。

2 会長は、前項の承認を得るにあたり、要綱の規定に定められた監事の監査を受け、その結果を添えなければならない。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、協議会の財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、2022年6月23日から施行し、規定は2022年4月28日から適用する。

(会計年度の特例)

2 第2条第2項の規定にかかわらず、2022年度の会計年度が開始する日は、2022年4月28日とする。

別表（第3条関係）

（1）歳入予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 負担金	1 負担金	1 負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入

（2）歳出予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 運営費	1 会議費	1 会議費
	2 事務費	1 事務費
2 事業費	1 事業費	1 事業費
3 予備費	1 予備費	1 予備費